

Fujitsu ゲノムソリューション HOPE LifeMark-ゲノム医療統合支援システム

FUJITSU

複雑なエキスパートパネル準備作業を
効率化



レポート作成の省力化、
質の高いレポート作成を支援

ゲノム検査運用に必要な臨床情報、検査結果をシステムで一元管理、活用し、エキスパートパネルの準備、レポート作成業務をサポートします。

運用するごとに蓄積されるデータの活用を促進し、医療の質向上、医療者の方の働き方改革を支援します。

導入前の運用課題

- 検査結果、解析データから遺伝子変異を手作業で抽出、標的となる治療・治験を事前に検索して準備
- 準備段階から専門的なスキルが求められるため、従事できる人員が不足
- ゲノム関連検査で発生するファイル、データがバラバラに保管され、院内での利活用が出来ない



導入後の運用

- 検査結果、解析データから遺伝子変異を抽出し、レポート編集画面に自動反映。**遺伝子数が多くても準備時間を短縮**
- 治療方針検討時に、過去症例を参照可能。**スキル依存からの脱却、メンバーの育成を支援**
- 運用しながら臨床情報とゲノム情報を一元管理。**院内における臨床・研究目的での利活用をサポート**



レポート作成画面と出力レポートサンプル

レポート作成画面

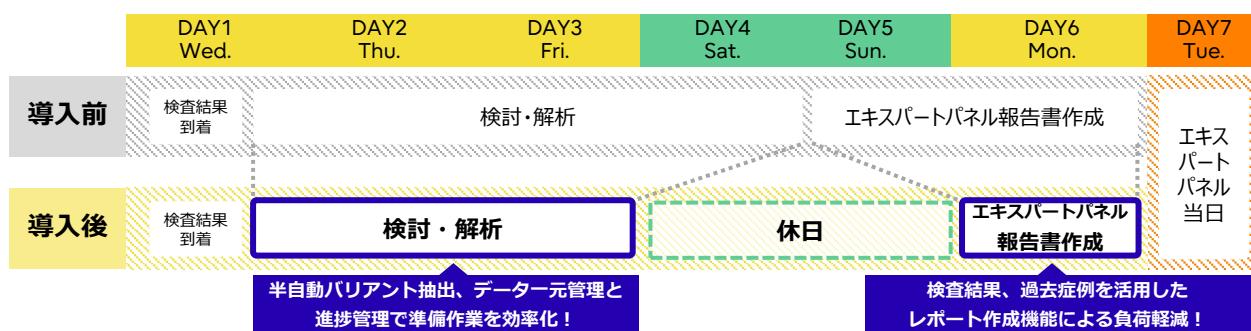
出力レポートサンプル

導入のメリット

1 エキスパートパネル準備作業の効率化

1 症例 約30分の作業時間の短縮を実現(実例)

システムで一元管理したデータをもとに、複数症例のエキスパートパネル準備・レポート作成作業を支援します。システムに取り込んだ検査会社のデータを活用し、作業の効率化を実現します。



2 システム内に蓄積したデータを活用し、エキスパートパネルにおける症例評価をサポート

過去のエキスパートパネル評価結果を参照、引用が可能で、エキスパートパネルでの症例評価をサポートします。運用するごとにデータが蓄積されていくため、経験が浅い方でも過去の症例を確認しながら評価が可能です。

3 臨床情報・ゲノム情報の院内活用

臨床情報、検査結果、入力情報、評価結果、レポート記載情報等のシステム内の情報は、構造化してシステム内のデータベースに蓄積しており、さまざまな目的に応じて院内でご活用いただけます。

Q 対象の検査は何でしょうか？

A がんゲノムプロファイリング検査(CGP)が対象となります。CGPは、OncoGuide™ NCCオンコパネルシステム、FoundationOne® CDx がんゲノムプロファイル、FoundationOne® Liquid CDx がんゲノムプロファイル、Guardant360® CDx がん遺伝子パネル、GenMineTOP がんゲノムプロファイリングシステム、ヘムサイト®(2025年12月現在)をサポートしています。今後はコンパニオン診断検査、germline検査、全ゲノム検査なども拡大予定です。その他各種ゲノム検査の実績の詳細は、お問い合わせください。

Q 富士通の電子カルテシステムが未導入でも問題ないか？

A 本システムは、電子カルテシステムベンダーを問わずに利用いただけます。電子カルテシステムとの接続がない場合でも、運用可能です。なお、電子カルテシステムと連携する際には、別途接続費用が発生する場合がございます。詳細につきましては、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

富士通Japan株式会社

E-mail : fjj-genome@cs.jp.fujitsu.com

TEL : 0120-835-554 (富士通Japanお客様総合センター)

受付時間 : 9時~12時、13時~17時30分

(土曜日・日曜日・祝日・当社指定の休業日を除く)

富士通ホームページにて

情報公開中！

URLまたはこちらからアクセスできます。>>>>

<https://global.fujitsu/ja-jp/offering/contribution-to-personalized-medicine>

